

# グローバルCOE地球惑星科学 フロンティアセミナー



講演者 : 高橋 明久 博士  
所属 : (株)地球科学総合研究所取締役研究開発部長  
日時 : 2011年9月28日(水) 10:00 - 12:00  
場所 : 地震・噴火予知研究観測センター 別館 第一会議室  
担当教員 : 松澤 暢 教授  
内線#3928/ E-mail:matuzawa@aob.gp.tohoku.ac.jp

## S波反射法探査の現状と課題

### 講義内容 :

S波構造の推定は、地震防災等に関連する強震動予測の見地からも重要であり、自然地震や微動そして制御振源を用いた反射・屈折法などの様々な手法でのアプローチが行われている。

制御振源を用いた方法では、S波振源を用いた純粋なS波探査が、屈折法を主体として主に土木分野で古くから用いられてきた。石油探査の分野でも1980年代から発振3方向×受振3成分の反射法地震探査が盛んに研究された。そして、1990年代中盤以降の着底型OBC(Ocean Bottom Cable)の普及によって、海域におけるPS変換波を用いた反射法(PS波反射法)によるS波構造推定が多く行われるようになってきた。さらに2000年代になるとコンパクトで廉価な3成分MEMS型加速度計が開発され、陸域・海域ともにMEMS型加速度計による観測が普及した。

本講演では、反射法地震探査におけるS波構造推定の現状を概観し、今後の課題について考察する。特に、最近注目されているPS波反射法に関する項目に焦点をあてて紹介したい。

主催 : 東北大学 グローバルCOEプログラム  
『変動地球惑星学の統合教育研究拠点』  
拠点リーダー 大谷 栄治

連絡先: 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉  
東北大学大学院理学研究科 地学棟 404号  
GCOE地球惑星科学事務室 苫米地 由布  
TEL/FAX 022(795)6668